愛の聖母園

事業報告NO.32　　平成23年3月31日

社会福祉法人 善き牧者会
児童養護施設 愛の聖母園

〒891-0116 鹿児島市上福元町5507-2
TEL.099-268-2045 FAX.099-268-2809
E-mail:seiboen@peace.ocn.ne.jp
http://www.wiss-net.com/seiboen

ごあいさつ

竹山　昭

平成二十二年度の愛の聖母園のご報告をするにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

例年はクリスマス会の頃にこの事業報告をお届けしてきましたが、今年度は園舎の大掛かりな建替え工事のためにクリスマス会も中止し、事業報告も年度末にまとめることになりました。やむを得なかったとはいえ、ご報告が遅れましたことをご容赦ください。

一昨年、園舎の耐震構造を調査したおりに、県の担当部署から、園舎の建替えを計画するなら補助する可能性があると教えられました。早速検討した結果、補助対象と認められて補助金が下りるようなら、以前から念願ではあっても資金的に実現できないと思っていた小舎制への全面的な移行が可能かもしれないと思いました。

幸い、補助申請の手続きは県に承認され、全面的な小舎制に踏み切ることにした次第です。具体的には、園の敷地内に新たに四つのホームと、心理室や学習室、図書室の機能を含む棟を加えて、五つの建物を新築しました。

こうして、従来からの三つの小舎制ホーム（一つは園域外）に加えて、計七つの家で職員と子供たちが自分たちの暮らしを築き上げてゆくことになります。

この切り替えは、さまざまな点で懸念も覚えたのですが、子供たちにとってはこのほうが良いことは言うまでもなく、さらに直接、子供たちと関わっている職員たちの強い希望と覚悟に促されて踏み切りました。

これからはそこに住み、共に暮らす子供たちと職員がホームの中身を築き上げます。易しいことではないとは思いますが、このあり方を子供たちに良しとして強く望んだ職員たちの覚悟と子供たちの成長してゆく力を信じています。

新しい歩みを選んだ彼らに、どうぞこれまでと変わらず、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

（社会福祉法人善き牧者会理事長）

1年のハイライト

2009

2010

2009年

12月18日　町内会クリスマス会
12月24日　各ホーム・クリスマス・パーティ

2010年

1月 1日　元旦の集い
1月 7日　七草祝い
1月20日　新年会
1月30日　小学生錬成会（低学年）
2月20日　学習ボランティア感謝の会
3月13日　卒業祝い会
3月20日　ＳＢマラソン大会
4月10日　入進学祝い会
4月29日　マラソン記録会（えい町マラソン中止の為）
5月 初旬　ゴールデンウィーク：各ホームレクリエーション計画
5月 5日　錦江湾クルージング
6月 7日　小学低学年レクリエーション
6月12日　小学生錬成会（高学年）
6月19日　幼児部会レクリエーション
7月23日～25日　小学生5～6年生キャンプ（日南海岸）
7月29日～30日　小学生2～4年生キャンプ（阿久根大島）
8月 3日　幼児部会　海水浴
8月 5日～６日　中・高生キャンプ（鹿屋霧島ヶ岡）
8月 9日　小学1年生海水浴
8月20日　ガーデンパーティー
9月11日　小学生錬成会（中学年）
9月16日　起工式
9月22日　十五夜
10月 4日　小学中学年レクリエーション
10月12日　幼児部会レクリエーション
10月17日　西谷山校区体育祭
10月31日　クリスマスイルミネーション点灯式（城山観光ホテル）
11月 2日　棟上式
11月13日　中・高生錬成会
12月11日　カトリック高齢者の集　ゆらいあい（ハンドベル演奏）
12月23日　小学高学年レクリエーション
その他 小さいレクリエーション 数回

愛の聖母園理念

社会福祉法人「善き牧者会」及び児童養護施設「愛の聖母園」は、「わたしが来たのは羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしはよい羊飼いである。よい羊飼いは羊のために命を捨てる。」(ヨハネ福音書10/10-11)と言われたイエス・キリストの思いを基本理念とする。

施設に入所する子どもたちは、様々な理由により、幼少期における成長に不可欠な家庭での健全な保護と養育・教育の場から一時的に、また長期にわたって疎外されている。職員一同はこうした子どもたちを神から委ねられたものとして、施設の保護者・聖マリアに倣い、やり直しのきかない子どもたちの人生のこの時期を能うかぎり共に歩もうとするものである。

愛の聖母園の職員は、すべての人間が神の似姿として、神によって創造され、かけがえのない者として愛されている存在であり、そこに人間の尊厳があり、その尊厳はいかなる権力によっても侵害されるものではない、というキリスト教的人間観に基づき、またイエス・キリストの小さく弱い人に対する熱い思いや情熱を見習いつつ、愛の奉仕の精神をもって子どもたちと関わるものである。

園の特色

- 神に愛されてることを知り、感謝と反省のできる「祈りの心」を育む環境
- 6棟の9～10名定員の小グループでは、温かい家庭的雰囲気の中で治療的・個別的な関わりを通して安心して伸び伸びと育つように支援
- 5名定員の地域でのグループホームでよりよい家庭的な生活体験
- 一対一の関わりの中でプレイセラピー、カウンセリングや生活場面面接による心理療法
- 子どもの養育が一時的に困難な場合、鹿児島市と契約を結んでのショートステイやトワイライトステイ事業を通しての子育て短期支援サービス
- 町内会や校区の行事に参加したり、地域の子どもたちを園の行事に招待したりして、地域との交流。園の多目的ホールや運動場は地域のニーズのために開放
- 学習指導、レクリエーション、リズム教室、ハンドベル、ピアノ、三味線、一時里親、ホームの援助や子どもとの交流、裁縫や清掃作業奉仕、数多いボランティアの方々による協力

園の概要

児童定員	60人
施設形態	小舎
敷地面積	5,769m²
建物面積	2,386m²

入所児童状況

平成21年11月1日現在　入所児童数 ―――― 57名

平成21年11月1日～平成22年11月30日 ―――― 入所5名　退所5名

平成22年12月1日現在　入所児童数 ―――― 57名

児童・職員の人数編成

平成22年12月1日現在

	未満児	年少児	計	小学生 1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	中学生 1年生	2年生	3年生	計	高校生 1年生	2年生	3年生	その他	計	合計		定員	暫定
男	1	5	6	4	2	1	2	2	2	13	2	3	2	7	1	0	0	1	2	28	57	60	
女	1	2	3	1	1	1	2	2	3	10	2	2	4	8	3	1	4	0	8	29			

施設長	児童指導員・保育士	事務員	栄養士	調理員等	家庭支援専門相談員	個別対応職員	心理療法担当者	合計
1	11　5	2	1	3＋非1	1	1	1	27

グループホーム ひまわり

本園からグループ「ひまわり」として地域の中での生活を始めて早3年半が経ちました。

子供達はすっかり地域の中での生活に慣れ、本園の仲間達にたよらず各々の友達を地域の中に作り、学校から帰ると真先に遊びに行ってしまう小学生。週末は、友人との関わりを楽しむ中高生。職員との入浴を喜んでくれる幼児。そんな5人の子供達と、必殺仕事人(?)にならないよう暮らしを楽しむ努力を惜しまない大人でありたいと願う日々です。

皆さんぜひぜひ遊びに来て下さいね。

グループホームひまわり

鹿養協　金賞
画題「爆発する山」小6 M. Y

児童文化奨励絵画展　入選
鹿養協　　金賞
画題「どうぶつと人とうみ」小2 K. Y

聖　劇

2010年度のクリスマスは、児童棟の建替えがあり、クリスマス会は中止せざるを得ませんでした。子どもたちはそれぞれの家、グループで、幼子、イエス・キリストの誕生のお祝を満喫したのではないかと思っております。日頃お世話になっている方々には、非常に残念でなりませんが、新しい年度にご招待できますことを楽しみにしております。

箱の中の贈り物

博士たちはイエスさまに黄金、乳香、没薬を贈りました。黄金は宝物としてわかりやすいのですが、乳香と没薬とはどのようなものでしょうか。乳香はカンラン科のニュウコウジュから分泌される樹脂で、空気に触れるとその名のとおり乳白色のかたまりになります。焚いて香として使うほか、鎮痛剤、止血剤、化膿止めなど薬としても使用しました。没薬も同じくカンラン科のモツヤクジュの樹液ですが、空気に触れると赤茶色のかたまりになります。やはり香、薬として使われ、殺菌、鎮痛、鎮静に効果があるとされています。イエスさまが十字架にかけられたさい、兵士が没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしますが、これは痛みを和らげるためだったのでしょう。

（参考）日本聖書協会　『星にみちびかれて』より

新しくなった愛の聖母園

楽しみいっぱーい

かいすいよくにいったこと

小学一年　A・S

せいほえんの一ねんせいのみんなとかいすいよくにいきました。みんなでじゅうにんでした。

あさおきたとき、うみにはいるからだのしみだとおもいました。

うみにいく車のなかであすかせんせいとあるぶすいちまんじゃくをしたり、まどかせんせいとあそんだりしました。あめがすこしふってきたので、もっとふるかなといやなきもちになりました。

せんだいのうみについたら、まずきがえました。そのあとうきわをもってすなはまにいきました。

じゅんびたいそうをしてうみにはいりました。水がつめたくてきもちがいいでした。あすかせんせいといっしょにおよぎました。

あすかせんせいはわたしのうきわをもっていっしょにうかびました。

「ざぼん」となみがきて、なんかいもみずをのんでしまいました。うみのみずはしおのあじがして、おいしくありませんでした。

つよいあめがふってきてからだにあたっていたいくらいでした。

きがえてから、おひるごはんをたべました。たくさんたべました。

たべおわったあとぶうるにいきました。海からぶうるはとおかったです。

ぶうるには、ふかいぶうるとあしがつくぶうるがありました。さいしょにあしがつくぶうるにいきました。がっこうのぶうるよりこのぶうるのほうがひろかったです。

手をひっぱってもらってばたばたおよいだり、水あびをしました。水あびはせながきもちよかったです。

ほんものじゃないひまわりのはなびらのよこから水がでていました。その水をさわったらつめたくてぶくぶくしていました。

あわのでるぶうるにもいきました。あしのうらがこそばゆかったです。ふかいぶうるではうきわでおよぎました。わたしはうみよりぶうるのほうがすきです。うみのみずはからいけどぶうるのみずはからくないからです。ふかいぶうるではひとりぼっちだったので、あしがつくぶうるがたのしかったです。

ぶうるのあと、おんせんにはいりました。すごくきもちよかったです。

そのあと、車にのってゆうごはんをたべにいきました。

かいすいよくはつかれたけれどたのしかったです。こんどはうみじゃなくてぶうるにいきたいとおもいました。

キャンプのこと

小学四年　N・W

雨がふって船が出るかなっとみんながしんぱいしながらふねのところにつきました。おしゃべりをしてたらやみました。船が出てのれたのでうれしかったです。船はスピードがはやかったです。

あくね大しまについて、とまるへやに入ったらピカピカでした。お店にお昼ごはんをたべに行きました。その後は海に行きました。海でおよいでいたらお魚を見つけました。青いお魚をとろうとしてたらにげました。へびみたいな生きものも見つけました。なみが大きくてざぶんざぶんとなりました。平およぎが一回だけできました。うれしかったです。夜はバーベキューをしました。つかうあみをあらうお手つだいをしました。肉とかウインナーを食べました。おいしかったです。おなかいっぱい食べました。ごはんの後は、花火をしました。き色い花火かと思って火をつけたらいろんな色でした。きれいでした。つぎの日は、また海におよぎに行きました。ひらおよぎを何回もしたら十五回できました。うれしかったです。かえってきてからあんせんに行きました。ろてんぶろがあってわたしは、入りにいきました。気持ちよかったです。その後そうめんながしに行きました。入ってみたらまるいようきの中に水が入っていてまわっていました。おいしかったです。楽しかったからまたみんなで行きたいな。

夏休みキャンプ

中学三年　S・N

八月五日～六日の一泊二日の間、中・高生会キャンプに行きました。一日目フェリーに乗って鹿屋に移動しました。フェリーの中では、いろんな人と話をしたり、外にでたりしました。鹿屋につき、海水浴場に行きました。天気の方は初めのうちは大丈夫でしたが、午後から雨が降ってしまいました。

みんなで水のかけ合いや時には、砂の投げ合いをして少しおこられたりと、とても楽しかったです。また、みんなで海水浴に行けたらなと思います。疲れきった頃、海からあがりキャンプ場へ向かいました。キャンプ場に行く途中で買物をしてから行きました。朝食のパンなどをそこで買いました。キャンプ場に着きみんなが落ちついたころに夕飯の準備をしました。バーベキューだったので準備がとても大変でした。準備ができて食べはじめて、ぼくと一緒に食べている人たちのテンションが上がりとても楽しく食べることができました。夕食の後は、みんなが楽しみにしていた花火をしました。たくさん花火があったのでまとめてする人もいました。ぼくは片付けをしていたのでみんなより遅れてやりはじめました。あばれ回って汗が服にたくさんつき、気持ちが悪くなり花火もおわってお風呂に入りました。とても気持ちよかったです。そして…キャンプ、夏、夜中…といえばやはり肝試し！初めは怖いというよりか楽しかったけど、近くに特攻隊で亡くなってしまったための碑霊があると聞いてビビりましたが、ぼくとあと二人はその碑霊をみて走って帰ってきました。本当にあってびっくりしました。

翌朝、荷物をまとめて朝食をとりました。前日買ったパンを食べました。その後プールに行きました。プールにはスライダーがあったのでそればかりしていました。とても楽しかったです。昼食は店で食べました。おいしかったです。また帰りもフェリーに乗って帰りました。とても楽しい二日間で思い出になりました。来年もまた行きたいです。

夏休み

部活

中学二年　R・K

私は二年生になり、先輩になりました。夏休みは、合同練習があったり、県総体がありました。県総体で私は、二年女子八〇〇メートルに出ました。出る人はみんな緊張していました。スタート前に友だちが「頑張ってね」と声をかけてくれてうれしいでした。ピストルがなって走りました。いつも五〇〇メートルから八〇〇メートルでスピードがおちてしまうので五〇〇メートルから八〇〇メートルのところを必死にこらえて頑張りました。タイムは、自己ベストではなかったです。でも、一年生の時から、県総体に出たいと思っていたので出れて良かったです。来年は、八〇〇メートルと一五〇〇メートルで県総体に出場したいです。

八月の最初に、三つの高校と合同練習があってずっと楽しみに待っていました。スポーツも勉強も優秀な学校です。三日間合同練習があります。一日目は、午前に十八キロぐらいアスファルトを走りました。けっこう足にきました。高校生とだったのでずっとがんばって隣を走っていました。でもあと一周できついという気持ちで負けてしまいました。くやしいでした。午後は二〇〇〇メートルを三本しました。とてもきついでした。二日目も午前、午後があってきついでした。合同練習最終日は、長距離。みんなで陸上競技場、野球場の周り一一〇〇メートルを一セット二本の二セットをしました。一チームが四人で私は二区でした。一区がスタートしてほとんどのチームがエースを一区でした。三分三十から五十秒ぐらいで一区は帰ってきました。五位ぐらいで、たすきを受け取り早い人についていき一人ぬきました。三区にたすきをわたし倒れそうなぐらいきついでした。鶴丸高校の先生に「頑張ったなお前、あきらめんなよ。いいもん持っているんだから」と言われて今までが自分に甘かったのかなと思いました。私たちのチームは三位でした。うれしいでした。くやしさもありましたが頑張ったので良かったです。合同練習でいろいろ感じました。このことを忘れずに日頃の練習を頑張りたいです。

十月には、市駅伝があります。七月・八月・九月にたくさん練習を頑張っていきたいです。一本のたすきをつなげるには、一人でも欠けたらたすきはつなげられません。私がみんなをまとめていきたいです。Aチームで走って一秒でもみんなに頑張ってもらって市で一位になりたいです。でも、私の目標は市ではありません。県や全国なので頑張って鍛えていきたいです。

一学期は、授業中でいねむりなどして先生におこられたりして授業の内容などがまったく頭に入っていなかったので、二学期は、部活だけではなくて、勉強も部活も両立できるように努力していきたいです。

あっという間の夏休み

中学三年　K・H

中学三年の夏休みはあっという間でした。私は、今塾に行っています。塾は昼の一時から五時までの時間に行っていますがそれが結構きついです。五コマある中で一コマの休けいが五分でその五分の間で分からない所を聞いたりするので、すぐに終わってしまいます。だから、帰ったら「ベッドに倒れ込んで寝る」という習慣がついてしまいました。夜は塾の宿題と学校の宿題の両方をやるけれど、塾の宿題の方にいつも時間をかけ過ぎてしまうので、一向に学校の宿題が終わりません。夏休み前に立てていた計画も崩れるようにして壊れていき、夏休みの前半が終了しました。

お盆は、勉強しつつ、たくさん遊びました。八月十八日、十九日には統一模試がありました。社会は塾の宿題のDドリでがんばったので案外スラスラ解けましたが、数学と英語が思ってた以上に解けませんでした。でも、統一模試は高校入試までにあと五回ぐらいあるのでその五回のテストで点数と偏差値を上げていこうと思います。そのためには、日頃の勉強やDドリ、見直しなどをしっかりしていこうと思います。

あと、一週間ちょっとしたら二学期が始まります。宿題を期限までに終わらせられたらいいと思います。今は結構たまっているので九月最初の実力テストに向けての勉強も兼ねて早く終わらせようと思います。

また、塾では入試モードに入るのでしっかりと取り組んでいきたいと思います。今は、真ん中のコースにいるけど八月六日にあったDキンではそのコースの中でトップの順位だったのでとてもうれしかったです。塾の先生も、「Kは毎日のDドリをしっかりやっていたから結果も良かったし、この調子でがんばれば上のコースにもいけるからがんばれ！」と言われました。すごくうれしい言葉でした。この言葉を胸に刻んでこれから入試までにいろんな対策を練ったり、勉強にはげんでいこうと思います。

二学期にはまず、忘れ物をしないことと提出物は期限以内に出すこと、テストで偏差値と点数と順位を上ることを目標にがんばっていこうと思います。

塾では、宿題をためないこと、授業中は他の人としゃべらないで集中して取り組むこと、人一倍努力をして、結果を出すことを目標にがんばろうと思います。

この長いような短い、あっという間の夏休みの残りの時間を暑さに負けず楽しんでいこうと思います。

錬成会

小学校低学年のテーマは、「ともだちと、なかよくするには」絵を用意して、みんなで色をぬる作業をしました。それぞれ異なった絵に色をぬりながら、だんだん仲良くするためのコツがわかってきたようです。

小学校中学年以上のテーマは「なぜいじめが起きるのか」ということで、みんなで話し合ったことを紙に書いてまとめて発表いたしました。仲良くすることの大切さを少し自分のものにできたようです。

れんせい会のこと

小学三年　Y・W

九月十一日にれんせい会に行きました。れんせい会でお友だちに〝いじめをしない〟べん強をしました。わたしはいじめをしないようにしたいです。あと文句を言わないようにすることとけんかをしないようにしたいです。

昼ごはんがくるまで鳥の本を読んでもらいました。おもしろい話でした。

昼ごはんを食べおわった後、ちょっとだけ遊びました。遊んだ後みんなでどんな絵をかくかを考えていました。けんかをしている絵と仲良くしている絵などをかこうと決まりました。わたしはみんなで手をつないでる絵をかきました。友だちが手伝わなくても自分でかけました。神父さまにみせたら「じょうずだね。」と言ってくれました。絵はかざってもらいました。

おやつを食べて帰ってきました。おべん強してけんかをしないことがだいじだなと思いました。

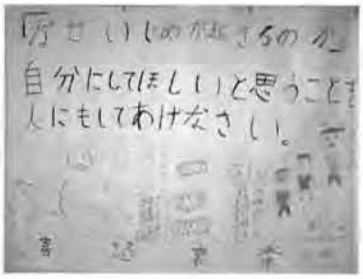
れん成会

小学三年　Y・S

九月十一日に、マリア山そうでれん成会がありました。最初に、おいのりをしました。

次に、大松神父さまのお話がありました。どうして、いじめがおこるのか、仲良くするためにはどうしたらいいのかという話がありました。お話を聞いて、ぼくは、わかりやすいと思いました。いやなことをやったり、言ったりしないようにしようと思いました。ご飯を食べた後に、勉強したことをまとめて絵にかいたり字を書いたりしました。まとめるのは大変でした。

帰りは少しよいました。楽しかったです。



れんせい会のこと

小学四年　N・W

れんせい会に行きました。れんせい会で心の勉強をしました。「いじめをしないでね」というお話を聞きました。けんかをしないとかみんなをけらないとかうざいと言ったらだめと神父さまがお話をしました。お話が終った後、うれしかった思い出を神父さまにお話しました。

お昼ごはんを食べた後、お勉強したことを絵にかこうと神父さまが言いました。みんなでお話をしました。どんな絵をかくか決めました。そして私は、遊んでる絵をかきました。じょうずにかけたのでうれしかったです。

最後におやつを食べて帰ってきました。

今日のお勉強でけんかをしないで仲良く遊ぼうと思いました。楽しかったです。

心の勉強

中高生のテーマは「愛について」

みんなそれぞれ愛の奥深さを感じた様でした。

錬成会（愛について）

中学二年　S・I

今日のテーマは、「愛」についてでした。ぼくは、好きイコール愛かと思っていましたが、違うことが分かりました。愛の特徴は、「相手が中心」「無償」「いくら与えても減らない」「積極的に伝えたらいいもの」「思ったことを行動に移すことで存在する」などなどでした。

逆に「好き」ということは、「感情」ということだそうです。また、愛というものは大切にされた時と同じような気がします。「おこられた時」「勉強しなさいと言われた時」「朝起こしてもらった時」「ご飯が出てきた時」「お弁当を作ってもらった時」「ほめられた時」「同意してもらった時」などなどでした。

よく「勉強しなさい」などと言われて、「うるせー」と思うこともありますが、それは将来の自分達の為に言っていることなんだと思いました。今日はありがとうございました。

"愛"について

高校一年　M・M

私は、今日、愛について学んだ事であらたな事を沢山知ることができました。そして愛の特徴というのは、はじめて学びました。愛とは思った事をすぐ行動に移す。でなければ愛は存在しない。

確かによく考えてみればそうだと思います。普段は、愛についてよく考えた事はありません。でも、深く考えると愛という言葉には色々な思いが沢山詰まっていたりしてすごいなーと思います。大切にされた時っていうのは、一番の愛を感じる事なんだと思いました。怒られた時など自分の考え方では、うるさい！と思う事であっても、見方、考え方を、プラスにちょっと変えるだけでも愛を感じとる事はできるんだなっ!!と思いました。神父様の講話・愛という言葉に沢山のことを学びました。そしてこれからも愛という単語の言葉だけではなく、沢山の言葉に学ぶ事があると思います。

その言葉の中にも、言われてうれしいことと傷つくことと、他にも沢山ありますが結局最後には、愛につながるんだろうなーと思いました。苦手な人を好きになる・苦手な人を愛する・言葉は少し違うけど、この少しの違いでも可能なことと不可能なことがあるのだと思いました。

言葉の遣い方を少し変えるだけでも意味が変わります。なのでそこを考えながら遣って、苦手な人でも愛せるようになって、そして大好きな人には、もっと大好きになれるようにしたいです。今日学んだことで沢山のことについて深く考える事はできたし、いい機会になったと思いました。

（愛について）錬成会を振り返って

高校三年　M・H

この錬成会に参加して、愛についてよく勉強になりました。

愛は、いままで恋の発展形なのかと思っていました。でも、普通に生活してる中でも身の回りにはたくさんの愛があふれているんだと感じました。何気なく生活していてもいろんな人に、いろんな愛があって、人それぞれ、形が違うけど、一つにまとめると、愛なんだと思いました。

私は好き嫌いが激しく、嫌いな人もいます。中には、話しかけるのも嫌な人もいます。

でも、人それぞれ個性があり、考えも違ってうまくやっていけない人もいます。この錬成会を通して、愛って、簡単なようで奥が深く、難しいものなんだと思いました。

これからさまざまな人ともっとたくさん出会うと思いますが、人との出会いを大切に、なによりも愛を大切にしていきたいと思います。

あと、いつも周りの人達に愛をもらっているということも忘れないでおきたいと思います。

本日は、ありがとうございました。

ハッスル高校3年生

これまでの道のり

R・M

私は、指宿にある吟松という旅館に就職が決まり、今年の三月中旬には行く事になっています。私が「旅館に就職しよう。」と決めた理由は、私の祖母が私が幼い頃から小さな温泉旅館で働いていたからです。時々その仕事場に行って祖母の帰りを待っていたので、働いている祖母を見る事ができました。その時の祖母は、忙しいはずなのに〝ずーっと〟笑っていて、楽しそうにお客さんとお話しをしていたり、仕事をしている祖母を見て、私もいつか祖母のように旅館で楽しみながら仕事をしたいと思いました。旅館で働くことは小学四年生からの夢になりました。そして見事にその夢を叶える事ができました。でも、仕事を楽しくするためには自分で努力しないといけません。初めから楽しいことばかりではなく、つらい事もあると思います。でも私は私らしく、毎日笑顔で自分が「楽しい」と言って笑えるような仕事をしていきたいと思います。

就職が決まって

M・M

私の夢は、常に明るく笑顔で利用者様に満足してもらえるサービスを提供できる一流の介護福祉士になることです。

高校二年の三月、四月からは三年生になると同時に、進路を決める大事な一年、私は就職を希望し、少しでも介護の知識や技術を修得しようと考え、土日や祝日、長期休み期間などを利用し、ヘルパー二級の講座を受講し夏休みには無事ホームヘルパー二級の資格を取得することが出来ました。

夏休みは毎日登校し、履歴書書きと面接練習を朝から夕方までみっちりしました。字が汚いとやり直しになりました。私は二〇〇枚ぐらい履歴書を書いたと思います。面接練習は言葉が少しでも詰まると担任の先生に指導されるので中には練習が嫌で来ない人や逃走する人もいました。でも、練習を積み重ねることでだんだん受け答えが出来るようになり、今となればこの鬼のような練習もありがたみを感じます。

夏休みが終るといよいよ勝負の時。私は一度落ちてしまいましたが、二回目は無事に決まりました。

高校を卒業すると就職への不安が高まり、一日が終るのを早く感じます。ちゃんと働けるのか、朝起きれるのかなど不安がある反面、社会に飛び立つという喜びも湧いてきます。でも一番不安なのは人とうまく付き合っていけるのかということです。今までよりもっと様々な人と出会います。だからこそ私はこれからも人との出会いを大切にしたいと思います。

聖母園で生活した数年間は長いようでとても短かったです。高校三年間と聖母園で過ごした年月は私にとって大切な思い出です。

最後になりますが、園長先生を初め、そばでいつも支えてくれたヨゼフホームの先生方や周りで支えて下さった他のホームの先生、私にホームヘルパーの資格や自動車学校に通う機会を与えて下さった支える会のみな様、園の児童のみんな、本当にありがとうございました。

これから先、決して楽な道ではないと思いますが今まで過ごしたみんなと、支えて下さったみなさんとの思い出を力にして、自分に負けないように頑張ります。そして、小学生の頃からの夢に向かって努力していこうと思います。

本当に、ありがとうございました。

がんばります!!

ピアノ教室・・・インタビュー

今回はピアノのご指導をして下さっている徳田先生にインタビューを致しました。週に一回の練習ですが、子供は割と早く様々な曲を習得できている様です。

こんにちは、ピアノさん

徳田　昭子

事務棟の階段を登り始めると、二階からピアノの音が聞こえてくる。（あ、Kちゃん、もう来て弾いてるな）。ところがドアを開けると、とたんに音は止み、ピアノに近づいてもKちゃんの姿はない。（また隠れたな）と思っていると、案の定、本棚の陰から「ワッ」と飛び出して、笑いながら体をぶつけてくる。これが、Kちゃん流のご挨拶。（よかった、今日も元気だな）でもちゃんと、「始めましょう」「お願いします」と、おじぎをしてレッスン開始。Kちゃんは同じクラスの友達や園の上級生が弾いているのを、耳から覚えて好きな曲を弾きたがるので、なるべくその興味を活かすようにして進めている。しかし、「アラベスクを弾きたい」と言った時は露露した。右手にも左手にも16分音符が出てくる。この速い動きを粒をそろえて弾くことができるか。そんな私の不安をよそに、Kちゃんは、友達の弾く指の位置を見、耳から聞き、すでに曲の前半は音をなぞらえるようになっていた。「弾けるようになりたい」という気持ちに支えられて苦手な部分練習や指の訓練をこなし、デイサービス「ゆらいあい」の皆さんに、聞いていただけるまでに仕上ることができた。

やりたい事に出会えると、ホップ・ステップ・ジャンプの勢いで成長する、もう一人の例。

今は、受験の為お休みしているHちゃんは、中学生になる時「部活もしたいけど、ピアノもやめたくない」と、夜のレッスンが始まった。そして、クラス対抗の合唱コンクールの伴奏を手をあげて引き受けてきた。両手共に和音の連続である。ウ～ム、間に合うかなと思いつつ、一緒に弾きやすいよう指番号を考え、同じ音を探したりと工夫しながら練習を進め、とうとう谷山サザンホールの舞台で伴奏者の役目を果すことができた。

また、Mちゃんは、この頃、音楽の中味を表現することに面白さを感じるようになってきている。読譜力のあるMちゃんは、それだけに音符どうり弾けたらそれで終わりの傾向があった。先日仕上げた「モルダウ」は、中味の表現の勉強に、うってつけの曲であった。短調で始まる曲の雰囲気に馴染めないでいたMちゃんも、スメタナがこの曲を作ったいきさつの話を聞き、CDでオーケストラの演奏を聞き、河の流れの意味を、一緒に語り合い、そうしていくうちに、劇的な盛り上がりの後、長調に転じ、最後短調にもどって、はるかな余韻を残して終っていくこの曲の中味を六年生なりの感性で弾くことができた。

子供達のこんな成長のためには、たくさんの方々の見守りがある。

暑い夏には冷房を、寒い冬には暖房を入れて準備していて下さる職員の方々、お忙しい中子供達の日頃の練習を指導して下さる園の旭野先生、デイサービスの為、月の半分は来れない私に代って熱心に子供達と向き合ってレッスンして下さる紫原教会オルガニストの迫田先生。また、一新した建物の中にピアノレッスン室も備えていただき、ご配慮に心から感謝しています。

このように多くの方々の支えの中で、子供達の「ピアノを弾きたい」という夢がこれからも叶え続けられますように、と神様に願っているこの頃です。

2010年12月

ニュース・レター

愛の聖母園を支える会
会　長:ホセ・デルコス
運営委員一同

“少子高齢社会”耳慣れたことばになった現代社会の中でも、家族と離れて暮らす事を余儀なくされた子供たちが残念ながら沢山おります。このような子供たちが、愛の聖母園で安心して、人と人との信頼関係を取り戻し、心身ともに成長し、自立して行けるようにと願って、私たちは、「愛の聖母園を支える会」を 2000 年 7 月に町内会の有志の方々・カトリック教会関係の有志の方々により発足いたしました。それから 10 年の歳月が過ぎようとしております。

お蔭様で 500 名くらいの方々が正会員になってくださっています。高齢化・転勤などの関係で、減少する年もありますが、新規に入会してくださる方々もおられますので、多くの方々から精神的・物質的に支えていただいております。また、正会員とは別に、ローソク会員として、(いつでも出来るときに、金額の多少にかかわらず、この趣旨に理解して下さる方です)・特別寄付者としても沢山の方々が賛同して下さっております。

これまでの、活動内容は、高校卒業時に自動車運転の免許取得費用・就職のための準備の支援、聴覚障害児の教育にかかわる諸支援、部活動のための支援、専門学校通学のための支援などとなっております。

善意の方々からのご援助・ご協力は、聖母園の子供たちが将来に向かって自立し、夢と希望を持って生きて行けるよう、物心両面から支える事が出来るようにと願って活動いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様が益々お元気でご活躍できますよう、心からお祈りさせて頂きます。

『愛の聖母園を支える会』

今年もよろしくお願いします

mother's love

入会ご希望の方、詳細をお知りになりたい方は下記へご連絡下さい。

「愛の聖母園を支える会」事務局
〒890-0081　鹿児島市唐湊2丁目10-2
レデンプトール宣教修道女会内
TEL 099-253-6658　　FAX 099-253-6651

【郵便振込み口座】
番　号　01760−0−55679
口座名義　愛の聖母園を支える会

ボランティア ひろば

Thank you

ありがとう

リズム教室
有川　泉さま
谷口直子さま

ピアノ
徳田昭子さま
迫田伸子さま

ハンドベル
安楽　晃さま

三味線
堀脇三知世さま

学習指導
米澤扶桑さま
天羽光子さま
ふれあいサークル
のみなさま

子どもとの交流
芝原慶次・ゆかりさま
森元晶行さま
ふれあいサークルの
みなさま

裁縫・衣類の整備
さつき会のみなさま
シスターカタリナ

学習指導
Br.ラザロさま

着付け
當　二恵子さま

一時里親
秋丸ミナ子さま
出水真紀さま
職員のご家族
のみなさま

おゼ遣いに感謝 !!

ご支援・ご協力に感謝（平成21年11月～平成22年11月 敬称略・50音順）

●愛の聖母園を支える会
代表 ホセ・デルコス
●(有)アイビルテクノサービス 岩瀬 裕
●青山美容室 青山 和子
●(有)アプローズ・ケイ
●天羽 浩一
●(株)アンビシャス
●池側 レイコ
●イケダ有志会 会長 飯島 雄司
●板倉 義典
●伊地知 美千代
●井上 正治
●今村 法人
●岩崎 正幸
●上山 才知子
●打越 政継
●浦田 和美
●NTT労働組合 鴨池分会
●エムザス 指宿店
●奥野 孝誠・晴美
●(株)ガイアプラン 安藤 敏朗
●柿元写真館
●柿元 行夫
●鹿児島音楽文化協会
●鹿児島カトリック連合壮年会
●鹿児島県共同募金会
●鹿児島県食肉事業協同組合連合会
会長 肥後 辰彦
●鹿児島サザンウインドロータリークラブ
●鹿児島純心女子短期大学 学生会
●鹿児島市立乳児院
●(株)鹿児島セントラルミート
●鹿児島谷山ライオンズクラブ
●鹿児島トヨペット(株)
●鹿児島乳児院
●鹿児島まぐろ同友会 会長 後潟 洋
●鹿児島菱友会 会長 小園 弘巳
●鹿児島聾学校
●文 ケイ子
●加治佐 立子
●手づくり餃子 河童
●加藤 悦子
●加藤 正孝
●カトリック谷山教会
ウィルヘルム・フリチェル
ヨルダン・ハンマ
●カトリック母間教会
●金田 ひとみ
●上山 一夫
●河南 勝
●河南 和子
●きじま耳鼻咽喉科
●気張いやんせ Night
代表 原田 雄眞
●九州アイスクリーム協会
理事長 永尾 正之
●熊谷 悟
●倶楽部 おかえりなさい 鹿倉 真コ子
●久留須 健
●桑畑 成子
●劇団カッパ座鹿児島カッパ友の会
●TEAM GAMI-LOCK
代表 山上 康弘
●(株)弘文社
●紅木屋三味線 和楽器専門店
代表者 瀬角 武夫
●河野 博
●坂元 鉄兵
●迫田 政光・フミ
●さつき会 代表 伊藤 七雄
●佐藤食品工業(有) 佐藤 眞一郎
●サンキューカット谷山店 種子島 一也
●(株)しが屋
●(財)資生堂社会福祉事業財団
●島津 香代子
●シネラマパワー 加藤 信孝
●下津浦医院 下津浦 宏之
●芝原 慶次・ゆかり
●(株)ジャパンエナジー
CSR推進部 JOMO電話基金事務局
●城山観光ホテル
●(株)城山ストアー
●城山ストアー会
●精療クリニック小林 小林 彰・和
●全国シャンメリー協同組合
●第一生命労働組合 鹿児島営業職支部一同
●(株)ダイサン 山口 太
●竹川 美智子
●竹本 真由子
●立石 黎子
●田中整形外科 田中 源郎
●田中ひふ科医院
●谷口 武志・博子
●谷山校区婦人会
●谷山中学校職員一同
●谷山善き牧者幼稚園職員一同
●タリーズコーヒージャパン(株)
マーケティング本部
●Dean's English school一同
●(株)ドール
●鳥越タタミ店
●長崎純心聖母会 川内修道院
●中瀬小児科 中瀬 正治
●長野 浩二
●中溝町内会
●永山 千寿
●西谷山校区女性連絡協議会
●西谷山児童クラブ
柿元 久美子・竹添 郁子
●西谷山小学校職員一同
●西谷山小学校 PTA
●日本逸餅組合 理事長 樋口 元剛
●濱田 深志
●ひまわり幼稚園 職員一同・父母の会
●平林脳神経外科 平林 和明
●フィリップ モリス ジャパン(株)
●福徳商店
●福富歯科医院 福富 博
●ブレール 宮 毅
●(株)ブレナス
●益山自動車
●(株)まるいストア 井川 良仁
●マルサカ(株)
●マルハン卸本町店
●満正苑
●(株)三菱東京UFJ銀行 CSR推進部
●南日本新聞社
●(株)ミドリ薬品 百崎 隆子
●南九州畜産興業(株) 岩重 秀人
●宮下 勲
●明光クリーニング 西谷山店
平田 ミネ子
●Coffee&Tea モーリー
●森永星ケ峯ミルクセンター
●森藤 純二
●森元 晶行
●柳橋 國博
●YANAGIMURA
●山口 泉
●山口 政行
●山下眼科クリニック 山下 豊美
●(株)ユーコー ラッキー鹿児島新栄店
●ゆうかり保育園
●横山 クミコ
●ラ・サール学園
●ラ・サール学園 母の会
●(株)リーコーポレーション
福重 リイ子
●(有)六峯煙火 古閑 毅
●若松 與曽吉
●脇 早良里
●わきだ整形外科
●匿名の方々
●取引業者の方々
●入所児童保護者・親族の方々

＊万一記載漏れや誤字のあった場合は、深くお詫び申し上げます。

感謝！ご招待
たくさんの方々の
愛に囲まれて！

▲ ヨーロッパからのお客様

▲「ゆらいあい」ハンドベル演奏

▲ 建物祝福式

▲ くもん学生 感謝会

▲ サイクリングの仲間

▲ 5/5クルージングのご招待

「 新しくなった愛の聖母園 」

平成22年度は、耐震化等整備事業により、園舎の建替えを行いました。完全小舎制の体制づくりに努力して参りました。皆様の御協力によりまして、2月に新築の4つの家に引っ越しが終りました。心理学習棟については、3月に引っ越しが終り残っておりました、大きな児童棟の解体も3月で終ります。この様に段階的ではありますが、何とか無事に工事を完了する事ができました。皆様の暖かいご支援、ご協力に深く感謝致します。新しい家での生活は必ずしも落ち着いた快適な生活と一致するものではないかもしれません。しかし、こじんまりとした、より家庭的な雰囲気（空間）の中で生活することは、子供にとってもよい選択ではないかと思います。一つひとつの園舎は、職員一人ひとりの思いや、考えが込められております。例えば私の場合、全体的な事は別にして、特に玄関にこだわりがありました。そのこだわりが実際活かされる事を願っております。ガラリと園の様子が変わったのですが、これからも皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

施設長　小牟田 久美子

愛の聖母園　課題解決委員会

課題解決責任者　小牟田　久美子
課題解決受付担当者　川原園　淳　一（児童指導員、社会福祉士）
町　田　照　子（保育士）
第三者委員　清　原　　浩（鹿児島大学教育学部名誉教授）
（鹿児島メンタルサポート研究所　所長）
川　下　智　子（医師）
岩　崎　正　幸（ラ・サール中・高校教諭）

課題解決受付件数　平成22年度（4月より11月まで）0件

愛の聖母園や子どものことでご相談やご意見があられる方は、ご遠慮なくお申し出くださいませ。

平成21年度決算報告

社会福祉法人　善き牧者会　児童養護施設愛の聖母園

平成21年度の決算報告(貸借対照表や財産目録他)はいつでも愛の聖母園の事務所で閲覧できます。
どうぞ、ご利用くださいませ。